



やまくら通信

発達支援研究所 渡辺忠温氏

人の行動に対する理解のしかたには、思っている以上にさまざまなものがある、それによってその行動の印象も変わってくるのだと思います。

「子どもの文化人類学」(原ひろ子・著)という本の中に、ヘヤー・インディアン(カナダの北西部で生活する狩猟採集民)が「やすむ」ということをどう考えているか、という話が出てきます。

今の日本でも、働き方改革などを通じ、休むことの大切さの意識は高くなっていると思いますが、ヘヤー・インディアンの人々にとっても「やすむ」ということはとても大切だそうです。ただ、その「大切さ」の中身が違い、彼らにとって「やすんでいる」ということは「精霊と交信している」ことであるために、「大事」ということのようなのです。

そうすると、たとえば細い道を一列になって歩いている時に、前の人が突然「やすみ」始めたりするそうなのですが(それ自体もあまり現在の日本では起こりそうもないですし、歩いている人が突然やすみ始めたら体調を心配したりと思うのですが)、守護霊と交信している大事な時間なので、他の人たちも進むように促したりせず、じっとやすみが終わるのを待っているそうです。また、暇そうにぼーっとしている時なども「あの人はいま守護霊と交信中だから邪魔しちゃいけない」というわけです。なんだか、待つ、ということも物語的で楽しそうに感じられてきませんか？

今の日本では、周りに合わせなければならないところが多く、ヘヤー・インディアンの人びとのように休んでいる人に合わせて周りが待つ、といったことは難しいかもしれませんが、少なくとも考え方によって、気持ちが軽くなるような場合は、やすむことの他にもあるかもしれません。「ちょっとイライラするけど、手を出さずに待たなければ」というような子どもの行動について、試しに守護霊を登場させてみると楽しく感じられる場合もあるかもしれませんね。

現在児童発達支援ご利用の方で、
来年度放課後等デイサービスへ
移行される方へ



4月1日より放課後等デイサービスに切り替わります。

利用時間についても、放課後等デイサービスの提供時間が変更になる方は、ご注意ください。また、4月の最初の支援日に受給者証をご持参ください。



事業所評価表について

昨年末に、お願いいたしました事業者評価表の回収が無事に終わり、集計をいたしました。皆さまのご協力を賜り、100パーセントに近い回収ができました。皆さまから、いただきました貴重なご意見を反映できるようこれからも努めてまいります。ご協力ありがとうございました。

みんなに質問コーナー

2月の質問コーナー、第8回目のお題は…【チョコレートはやっぱりこれ!!ミルク&ホワイト&ビター】に合計49票が集まりました😊結果は…ビター11票、ミルク22票、ホワイト16票という結果でした👑王道のミルク、やはり1番人気でしたね👑3月は、【無人島に持っていくな?道具vs食料vsゲーム】です🌟投票よろしくお願ひします😊



こどもサポート教室「クラ・ゼミ」山形

営業日：月曜日～土曜日

営業時間：10:00～19:00

錦町校 023(674)0300 南栄校 023(674)6577 天童校 023(665)5611
松波校 023(666)3344 寒河江校 0237(84)6226

営業時間：9:00～18:00

天童中央校 023(679)3270

